

令和7年度

藤岡ブロックの小中一貫教育



▶ 目指す子ども像 夢と故郷(ふるさと)への誇りをもち、たくましく未来を切り拓く児童生徒

確かな学力 豊かな心 健やかな体

自ら問い合わせ、考え、学び合い、高め合う児童生徒	思いやりと向上心をもち、自他を尊重する児童生徒	心身共に健康で、粘り強く最後までやりぬく児童生徒
--------------------------	-------------------------	--------------------------

▶ 各発達段階で身に付けさせたい力 ～9年間を見通した指導～

中学校	中3 中2 	<p>①各教科等で習得した知識(概念)を活用しながら、多様な手段で自分の思いや考えを表現する。</p> <p>②精査した情報を基に形成された自分の考えをお互いに伝え合うことで、協働して課題を解決したり共に考えを創り上げたりする。</p> <p>③他者と思いを共有し、自分の考えを広げ深めることで、問い合わせに対する新たな意味や価値を創造する。</p>	<p>①自分の思いや考えを、場や相手の立場を考慮して、適切に伝える。</p> <p>②自分のすべきことを考え、自主的に行動に移す。</p> <p>③自他を尊重し、誰に対しても分け隔てなく接し、誰もが安全安心に過ごせる環境を作る。</p>	<p>①心身の健康に対する理解を深め、主体的にその保持に努める。</p> <p>②運動の意義について理解し、自己の体を顧みて、進んで体力向上に努める。</p> <p>③みんなと高め合い、自分で目標を設定し、計画的に運動する。</p>
	中1 小6 小5 	<p>①目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように、自分の思いや考えを表現する。</p> <p>②情報を目的に応じて取捨選択しながら、協働して課題を解決する。</p> <p>③互いの立場や意図を明確にしながら学び合うことを通して、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>①自分の思いや考えを適切に伝える。</p> <p>②目標をもって粘り強く活動に取り組む。</p> <p>③異なる意見・立場を尊重し、相手を認める。</p>	<p>①心の健康やけがの防止、病気の予防について理解し、健康で安全な生活を営むための技能を身に付ける。</p> <p>②いろいろな動きを取り入れながら、楽しく活動する。</p> <p>③友達と協力し、自分の目標を達成するために進んで運動する。</p>
	4年 3年 2年 1年 	<p>①理由や事例を挙げながら、自分の思いを表現する。</p> <p>②自分の経験と結び付けながら、協働して課題を解決する。</p> <p>③学び合いを通して互いの意見の共通点や相違点に気付き、自分の考えを広げる。</p>	<p>①友達に優しく接し、自分の気持ちを言葉で伝える。</p> <p>②めあてをもって活動に取り組む。</p> <p>③みんなが気持ちよく過ごすためにきまりや約束を守る。</p>	<p>①基本的な生活習慣を身に付ける。</p> <p>②友達や家族と楽しく体を動かす。</p> <p>③自分に合っためあてをもって、進んで運動する。</p>

①表現 ②課題解決 ③学び合い

①思いやり ②向上心 ③自他の尊重

①健康 ②運動 ③課題解決

▶ 令和7年度の取組と成果指標

	学習指導部	児童生徒指導部	健康安全指導部
重点目標	いろいろな人と一緒に学びながら、自分の目標を達成したり疑問を解決したりしていく。	みんなのいろいろな考えを大切にしながら、話し合って決め、力を合わせて実行する。	自分の心や体の健康と命を守るために行動や運動を続ける(習慣にする)。
取組内容(評価項目)	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等で、思いや考えを伝え合い、学びを深める指導の充実を図る。 オンラインで大小連携をやる教科や単元などを、前もって計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の特色を生かした学校生活の中で、児童生徒が話合い、協力し合ってよさを認められるよう指導の工夫・改善を図る。 児童・生徒同士で、「ありがとう」が言い合える場を意図的に設ける。 	<p>○望ましい生活習慣の良さに気づき、健康で安全な生活に努める児童生徒の育成を図る。</p> <p>◆長期休業後に健康週間を設定し、以下の項目について一週間自己評価をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な睡眠時間をとっていたか 早寝、早起きができたか 朝食を食べてきたか 休み時間等に意識して体を動かしたか 寝る前1時間は、ゲーム機やスマート等を使わなかったか
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 2学期末の学校評価の「自分の思いや考えを伝えて学び合っている」等に対する回答で、肯定的な回答の割合がR6に比べてそう変容したか推移を検証する。【児童生徒】 学校評価の「思いや考えを伝え合い、学びを深める指導の充実に努めている」等に対する肯定的な回答の割合を多くする。【教職員】 	<ul style="list-style-type: none"> 年度頭と年度後半に児童生徒アンケート「あなたは学校生活(学校行事や縦割り活動、普段の授業など)の中で、友達や仲間と話し合ったり協力し合ったりすることで、あなたは友達や先生から認められていると感じことがありますか?」を実施し、肯定的な回答をする児童生徒の割合が、1回目より2回目の結果が上昇しているようにする。【児童生徒】 	<p>○健康週間最終日に行う「一週間、生活習慣を意識して取り組めたか」という児童生徒の振り返りで、肯定的に回答する児童生徒の割合が、夏季休業後より、冬季休業後の方が高くなるようにする。【児童生徒】</p>